

動物看護科 教育課程(新)

区分	科目名			1年		2年		3年		合計					
	分野	学習目標/大科目名	科目	科目コード	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間			
(専門基礎分野)	基礎動物学		生命倫理・動物福祉	NA	1	30					1	30			
			動物形態機能学Ⅰ	NA	2	60					2	60			
			動物形態機能学Ⅱ	NA	2	60					2	60			
			動物繁殖学	NA					1	30		1	30		
			動物行動学	NA					1	30		1	30		
			動物栄養学Ⅰ	NA	1	30					1	30			
			動物栄養学Ⅱ	NA					1	30		1	30		
			比較動物学	NA							2	60	2	60	
			動物看護関連法規	NA							1	15	1	15	
	動物愛護・適正飼育関連	NA							1	15	1	15			
	基礎動物看護学		動物看護学概論	NB2	1	30					1	30			
			動物病理学	NB2			1	30			1	30			
			動物薬理学Ⅰ	NB2			1	30			1	30			
			動物薬理学Ⅱ	NB2					1	30		1	30		
			動物感染症学Ⅰ	NB2			1	30			1	30			
			動物感染症学Ⅱ	NB2			1	30			1	30			
			動物感染症学Ⅲ	NB2						1	30	1	30		
			公衆衛生学Ⅰ	NB2	1	30					1	30			
			公衆衛生学Ⅱ	NB2	1	30					1	30			
			動物内科学看護学Ⅰ	NC	1	30					1	30			
	臨床動物看護学		動物内科学看護学Ⅱ	NC	2	60					2	60			
			動物外科看護学	NC			2	60			2	60			
			動物臨床看護学総論	NC			1	30			1	30			
			動物臨床看護学各論Ⅰ	NC			2	60			2	60			
			動物臨床看護学各論Ⅱ	NC					2	60	2	60			
			動物臨床検査学	NC			1	30			1	30			
			動物医療コミュニケーション	NC					1	30	1	30			
	愛護・適正飼育学		愛護動物学Ⅰ	ND	1	30					1	30			
			愛護動物学Ⅱ	ND	1	30					1	30			
			人と動物の関係学	ND					1	30		1	30		
			適正飼養指導論Ⅰ	ND					1	30		1	30		
			適正飼養指導論Ⅱ	ND						1	30	1	30		
			動物生活環境学	ND					1	30	1	30			
ペット関連産業概論			ND	1	30					1	30				
必修科目(専門基礎分野)計					15	450	15	450	11	300	41	1,200			
(専門科目分野)	実習	修得した知識の実践力を身につける	動物形態機能学実習	NF2	1	30					1	30			
			動物内科学看護学実習Ⅰ	NP2	2	60					2	60			
			動物内科学看護学実習Ⅱ	NP2	2	60					2	60			
			動物臨床検査学実習	NP4					2	60		2	60		
			動物外科看護学実習Ⅰ	NP5					1	30		1	30		
			動物外科看護学実習Ⅱ	NP5						2	60	2	60		
			動物臨床看護学実習	NP5						2	60	2	60		
			動物愛護・適正飼養実習	NP5						2	60	2	60		
			動物看護総合実習Ⅰ	NP2	1	30					1	30			
			動物看護総合実習Ⅱ	NP2							3	90	3	90	
			動物看護総合実習Ⅲ	NP2							2	60	2	60	
			必修科目(専門基礎分野)計					6	180	6	180	8	240	20	600
			必修科目(専門基礎分野+専門分野)計					21	630	21	630	19	540	61	1,800
(社会人基礎分野)	社会の中で自分の役割を考える	キャリアデザイン	キャリアデザインⅠ	NF2	1	30					1	30			
			キャリアデザインⅡ	NF2					1	30		1	30		
			キャリアデザインⅢ	NF2						1	30		1	30	
	社会人として必要なビジネス能力	ボランティア活動	ボランティア活動Ⅰ	NF2	1	30					1	30			
			ボランティア活動Ⅱ	NF2					1	30		1	30		
	社会人として持つべき基礎的教養	損害保険学	損害保険学	NG	1	15					1	15			
			基本IT技術Ⅰ	NG					2	60		2	60		
		イベントプロデューサー	基本IT技術Ⅱ	NG						1	30		1	30	
			イベントプロデューサー	NH	1	15						1	15		
			社会常識	NH					1	30		1	30		
			ビジネス文章力Ⅰ	NH	1	30						1	30		
	専門を深める	環境整備	コミュニケーション学	NH	1	30					1	30			
			プレゼンテーション学	NH	1	30			1	30		1	30		
		動物飼育実習	環境整備	NH	1	30						1	30		
			動物飼育実習Ⅰ	NP2	1	30						1	30		
			動物飼育実習Ⅱ	NP2					2	60		2	60		
	トータルケア実習	動物飼育実習Ⅲ	NP2						1	30		1	30		
ドッグトレーニング実習Ⅰ		NP4					1	30		1	30				
ドッグトレーニング実習Ⅱ		NP4						1	30		1	30			
トータルケア実習Ⅰ		NP2					3	90		3	90				
動物看護師総合学	トータルケア実習Ⅱ	NP2						3	90		3	90			
	愛玩動物看護師試験対策	NI2						1	30		1	30			
	愛玩動物看護師試験対策	NI2						1	30		1	30			
必修科目(社会人基礎分野)計					8	210	12	360	9	270	29	840			
必修科目(専門基礎分野+専門分野+社会人基礎分野)計					29	840	33	990	28	810	90	2,640			
選択科目	専門を深める基礎的教養	アニマルヘルパー	AN0	1	30					1	30				
		ビジネス文章力Ⅱ	AN0	1	30					1	30				
選択科目(社会人基礎分野+専門分野)計					2	60	2	60	2	60	6	180			
必修科目+選択科目 総計					31	900	35	1,050	30	870	96	2,820			

・単位と時間の関係は 講義は15～30時間/単位(自宅学習を含む)のもの、実習は15～45時間/単位のものに分かれる
 ・科目履修(単位)認定の要件: 80%以上の出席 および 期末試験 60点以上を基本とするが、科目により実技試験、あるいはレポートに換える場合もある
 ・卒業の要件: 必修科目90単位(2,640時間)以上の履修
 ※実習に関しては、50分を1単位時間とする。

2022年度 シラバス

科目名	動物栄養学Ⅰ		単位数	1	科目コード	NA2206		
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業							
授業の一般目標	5大栄養素やその代謝などの基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。							
受講条件	動物看護科に在籍している							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	大栄養素とその代謝について説明することができる。2. ライフステージや疾患別の療法食について説明することができる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
5大栄養素+水(6大栄養素)を理解し、ライフステージによる栄養管理や疾患別による栄養特性を学ぶ。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	動物栄養学総論①	6大栄養素 (1. タンパク質、2. 脂肪(脂質))						
第2回	動物栄養学総論②	6大栄養素 (3. 炭水化物、4. ビタミン、5. ミネラル、6. 水)						
第3回	動物栄養学総論③/犬猫の必要栄養素の違い	過剰症と欠乏症/食性の違い						
第4回	ペットフードの表記	ペットフード安全法で規定されている表記						
第5回	ライフステージによる栄養管理①	犬のライフステージについて (成長期、維持期)						
第6回	ライフステージによる栄養管理②	猫のライフステージについて (成長期、維持期) 犬と猫の加齢性変化						
第7回	ライフステージによる栄養管理③	繁殖期・妊娠期・授乳期の栄養管理						
第8回	B C S評価およびカロリー計算	B C Sとは/カロリー計算 (食物のカロリー・犬や猫のエネルギー要求量)						
第9回	肥満と削瘦/フードの給与回数、給与方法	肥満と削瘦とは/フードのタイプ: 目的別の分類、給与回数、給与方法						
第10回	手作り食	嗜好性とは/ペットフードの適切な取扱い/手作り食						
第11回	疾患別による栄養特性 (下部尿路疾患①)	食事療法食の表記と取扱い/下部尿路疾患とは/猫の特発性膀胱炎						
第12回	疾患別による栄養特性 (下部尿路疾患②)	尿路結石について①						
第13回	疾患別による栄養特性 (下部尿路疾患③)	尿路結石について②						
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける				※学生証が必要		
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀 (S):100点~90点
小テスト	○	○					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎					10	良 (B):79点~70点
授業態度			○	○			10	可 (D):69点~60点
発表・作品							-	不可 (E):59点以下
演習							-	
出席			◎				10	
担当教員	丸山 圭太			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/			

2022年度 シラバス

科目名	動物栄養学Ⅱ		単位数	1	科目コード	NA2207		
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「基礎動物学」に位置する授業							
授業の一般目標	5大栄養素やその代謝などの基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。							
受講条件	動物看護科に在籍している							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD PRESS出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	疾患別の療法食について説明することができる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
5大栄養素+水(6大栄養素)を理解し、疾患別による栄養特性、強制給餌と経管・静脈栄養素を学ぶ。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	疾患別による栄養特性(皮膚疾患①)	皮膚疾患の種類/食物アレルギー①						
第2回	疾患別による栄養特性(皮膚疾患②)	食物アレルギー②/犬アトピー性皮膚炎						
第3回	疾患別による栄養特性(肥満)	肥満について						
第4回	疾患別による栄養特性(下痢・猫の便秘)	下痢について/猫の便秘について						
第5回	疾患別による栄養特性(心臓病①)	心臓のしくみ						
第6回	疾患別による栄養特性(心臓病②)	僧帽弁閉鎖不全症とは						
第7回	疾患別による栄養特性(慢性腎臓病①)	腎臓のしくみ						
第8回	疾患別による栄養特性(慢性腎臓病②)	慢性腎臓病について						
第9回	疾患別による栄養特性(肝臓病)	肝臓のしくみ/肝臓病について						
第10回	疾患別による栄養特性(糖尿病)	糖尿病について						
第11回	疾患別による栄養特性(関節疾患)	関節疾患について						
第12回	強制的な給餌方法/経路別の栄養	強制給餌方法/経管・計静脈による栄養の種類と違い						
第13回	中毒物・与えてはいけないもの	犬・猫に危険な、あるいは気をつけたい主な食材とその理由						
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける				※学生証が必要		
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
小テスト	○	○					20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎					10	良(B):79点~70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点~60点
発表・作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			◎				10	
担当教員	丸山 圭太			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/			

2022年度 シラバス

科目名	動物医療コミュニケーション		単位数	1	科目コード	NC2208		
授業形態	講義		対象学生	3年次	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「臨床動物看護学」に位置する授業							
授業の一般目標	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。							
受講条件	動物看護科に在籍している							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 動物の健康管理について飼い主向けに説明できる。 2. 院内におけるコミュニケーションの重要性を説明することができる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
クライアントエデュケーションを理解し、クライアント(飼い主)が求める8つの条件や院内コミュニケーション、グリーフケアを学ぶ。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	クライアントエデュケーション①	クライアントエデュケーション概論について						
第2回	クライアントエデュケーション②	クライアントサービスについて						
第3回	クライアントエデュケーション③	適正飼育、健康管理の必要な情報提供/動物と飼い主の良好な関係構築について						
第4回	クライアントエデュケーション④	病気の適切な予防法について①						
第5回	クライアントエデュケーション⑤	病気の適切な予防法について②						
第6回	クライアントエデュケーション⑥	病気の適切な予防法について③						
第7回	クライアントエデュケーション⑦	接遇とホスピタリティについて						
第8回	クライアントエデュケーション⑧	在宅治療(往診)におけるコミュニケーション技能について						
第9回	院内コミュニケーション①	飼い主教育を主体としたインフォームドコンセントについて						
第10回	院内コミュニケーション②	医療面接のプロセス/チーム医療に関するコミュニケーション技能について						
第11回	院内マネジメント①	受付業務(診療受付、電話対応、清算、トラブル対応など)について						
第12回	院内マネジメント②	物品購入や管理/動物保健医療について						
第13回	グリーフケア	看取り、お別れ、お見送り、ペットロスのこと						
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける				※学生証が必要		
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀 (S):100点~90点
小テスト	○	○					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎					10	良 (B):79点~70点
授業態度			○	○			10	可 (D):69点~60点
発表・作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			◎				10	
担当教員	丸山 圭太			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/			

2022年度 シラバス

科目名	人と動物の関係学		単位数	1	科目コード	ND2203		
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「愛護・適正飼養学」に位置する授業							
授業の一般目標	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。							
受講条件	愛玩動物学の単位認定							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 4巻」							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	.AAA、AAT、AAEについて説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
人と動物の関係と歴史について理解し、人と動物の関係や使役動物から介在動物について学ぶ。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	人と動物の関係と歴史	人と動物の関係と歴史について						
第2回	学問への道/経緯	基盤になった研究について						
第3回	人と動物の関係①	家畜化について						
第4回	人と動物の関係②	人と犬の関係について						
第5回	人と動物の関係③	人と猫の関係について						
第6回	人と動物の関係④	人と馬の関係について						
第7回	人と動物の関係⑤	人と伴侶動物の新たな関係について						
第8回	人と動物の関係⑥	人と野生動物の関係について						
第9回	使役動物から介在動物へ①	使役動物について						
第10回	使役動物から介在動物へ②	介助犬について						
第11回	使役動物から介在動物へ③	介在動物/動物介在療法について						
第12回	使役動物から介在動物へ④	動物介在教育/動物介在活動について						
第13回	様々な人と動物の関係	子供と動物、高齢者と動物、罪を犯した人と動物の関係について						
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける				※学生証が必要		
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀 (S):100点~90点
小テスト	○	○					20	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート		◎					10	良 (B):79点~70点
授業態度			○	○			10	可 (D):69点~60点
発表・作品							-	不可 (E):59点以下
演習							-	
出席			◎				10	
担当教員	丸山 圭太			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/			

2022年度 シラバス

科目名	ペット関連産業概論		単位数	1	科目コード	ND2207		
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「愛護・適正飼養学」に位置する授業							
授業の一般目標	ペット関連産業に従事する者として職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼育のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。							
受講条件	動物看護科に在籍している							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻」							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ペット関連産業についてや動物取扱責任者としての職業倫理や業務内容を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
伴侶動物の歴史と代表的な品種について理解し、本校で飼育している小動物の飼育管理について学ぶ。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ペット関連産業概論	ペット関連産業と動物看護師				-		
第2回	ペット業界の歴史	ペット業界の歴史について				-		
第3回	ペット関連産業における職業倫理①	1. ペット関連産業における責任と社会的役割				教科書 P. 265～267		
第4回	ペット関連産業における職業倫理②	2. 商取引における関連法規の概要 3. 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性、実施方法				教科書 P. 268～274		
第5回	ペットの飼育実態と市場規模	1. ペットの飼育実態～3. ペット産業全体の市場規模				教科書 P. 279～287		
第6回	各ペット関連産業の現状と課題①	1. ペット産業の分類(グループワーク)				教科書 P. 291～292		
第7回	各ペット関連産業の現状と課題②	2. 動物病院の現状				教科書 P. 292～295		
第8回	各ペット関連産業の現状と課題③	3. 動物病院以外のサービス業の現状～6. その他ペット産業の現状				教科書 P. 295～301		
第9回	各ペット関連産業の現状と課題④	グループワーク: ペット産業のそれぞれについて				-		
第10回	動物取扱業①	1. 動物取扱業制度の概要				教科書 P. 305～312		
第11回	動物取扱業②	2. 動物取扱責任者として業務実施のために必要な実践的知識と動物の取扱方法および衛生管理				教科書 P. 313～319		
第12回	半期まとめ	各グループに分かれて半期の内容をまとめる				-		
第13回	まとめ内容発表	12回目の内容の発表(半期振り返り)				-		
第14回	授業振り返り/単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける				※学生証が必要		
第15回	テスト返し/解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義/復習する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点～90点
小テスト	○	○					10	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート		◎					20	良(B):79点～70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点～60点
発表・作品							-	不可(E):59点以下
演習							-	
出席			◎				10	
担当教員	北村 昌樹			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/			

2022年度 シラバス

科目名	動物外科看護学実習 I		単位数	1	科目コード	NE2205		
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業							
授業の一般目標	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。							
受講条件	動物外科看護学を履修している。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻」 EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版」							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 手術準備や術中・術後管理等の各種技法や手順を説明できる。 2. 救急救命の各種技法や手順を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	手術準備や術中・術後管理等の各種技法を適宜実施できる。 2. 救急救命の各種技法を適宜実施できる。							
授業計画(全体)								
動物外科看護学の理論を基に手術における実践及び術後管理や救命救急を学ぶ。 ※実習中は必ず実習服を着用していること。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	リネン類のたたみ方	手術衣・ドレープ類を準備し、滅菌することができる						
第2回	手術室準備・気管内挿管	手術室の準備を行うことができる 気管内挿管の準備・補助ができる						
第3回	手指消毒・ガウン装着①	手指消毒・手術着装着が正しくできる						
第4回	手指消毒・ガウン装着②							
第5回	手袋装着	closed cuff methodで3分以内に手術手袋を装着できる						
第6回	各種器械使用方法	各種手術器械が正しく使うことができる						
第7回	手術器具準備・器具滅菌	手術器具の準備・滅菌ができる						
第8回	救急救命処置 I ①	救命方法の知識の実践①				※2020年12月実施 ‘ペットファーストエイド’講座にて		
第9回	救急救命処置 I ②	救命方法の知識の実践②						
第10回	救急救命処置 I ③	救命方法の知識の実践③						
第11回	救急救命処置 I ④	救命方法の知識の実践④						
第12回	救急救命処置 I ⑤	救命方法の知識の実践⑤						
第13回	救急救命処置 I ⑥	救命方法の知識の実践⑥						
第14回	授業振り返り／単位認定試験	授業を振り返り、授業内にて前期末試験を受ける				※学生証が必要		
第15回	テスト返し／解説	前回行った試験の問題用紙を見ながら、問題の意義・答えを復習する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○	○	○		50	秀 (S):100点～90点
小テスト							-	優 (A):89点～80点
宿題授業外レポート	○		○				10	良 (B):79点～70点
授業態度			○	◎			10	可 (D):69点～60点
発表・作品							-	不可 (E):59点以下
演習			○	○			20	
出席			○				10	
担当教員	丸山 圭太			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/			

2022年度 シラバス

科目名	動物愛護・適正飼養実習		単位数	2	科目コード	NE2208		
授業形態	実習		対象学生	3年生	開設期	通期		
区分	必修		開設時期	通期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業							
授業の一般目標	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。							
受講条件	動物看護科に在籍している。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	EDUWARD Press出版「愛玩動物看護師カリキュラム準拠 動物看護実習テキスト 第3版」							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 各事例において必要な情報を収集できる。 2. 各事例に合わせた動物看護計画を計画できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	臨床現場を想定した各種場面において、最良とされる判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	グループで話し合った動物看護計画を、論理的に説明できる。							
授業計画(全体)								
動物看護過程の実践(事例演習)から実践力を身に付けるように授業を進める。 ※実習中は必ず実習服を着用していること。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	動物看護過程の展開①<<肛門周囲腺腫の看護>>	≪グループワーク> 看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する						
第2回		≪グループワーク 発表> グループで話し合った動物看護計画を発表する						
第3回		≪グループワーク> 事例をもとに、動物看護記録を作成する						
第4回	動物看護過程の展開①<<骨折の看護>>	≪グループワーク> 看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する						
第5回		≪グループワーク 発表> グループで話し合った動物看護計画を発表する						
第6回		≪グループワーク> 事例をもとに、動物看護記録を作成する						
第7回	動物看護過程の展開①<<感染症の看護>>	≪グループワーク> 看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する						
第8回		≪グループワーク 発表> グループで話し合った動物看護計画を発表する						
第9回		≪グループワーク> 事例をもとに、動物看護記録を作成する						
第10回	動物看護過程の展開①<<褥瘡の看護>>	≪グループワーク> 看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する						
第11回		≪グループワーク 発表> グループで話し合った動物看護計画を発表する						
第12回		≪グループワーク> 事例をもとに、動物看護記録を作成する						
第13回	期末試験 動物看護過程の展開⑤<<がんの看護>>	≪グループワーク> 看護対象のアセスメントから動物看護計画を立案する					第13～15回を通しての 動物看護計画の立案・発表 を期末試験とする。	
第14回		≪グループワーク 発表> グループで話し合った動物看護計画を発表する						
第15回		≪グループワーク> 事例をもとに、動物看護記録を作成する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○	○	○		50	秀 (S):100点～90点
小テスト							-	優 (A):89点～80点
宿題授業外レポート	○		○				10	良 (B):79点～70点
授業態度			○	◎			10	可 (D):69点～60点
発表・作品							-	不可(E):59点以下
演習			○	○			20	
出席			○				10	
担当教員	北村 昌樹			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/kitamura/			

2022年度 シラバス

科目名	動物看護総合実習 I		単位数	1	科目コード	NE2209		
授業形態	体験型実習		対象学生	1年生	開設期	通期		
区分	必修		開設時期	通期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	愛玩動物看護師カリキュラム「実習」に位置する授業 実際の動物診療施設での診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。 診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する。							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションを受け、動物病院の概要、動物看護師の職務内容を理解する。 ・獣医師・看護師の業務内容を把握する。 ・動物病院の施設見学をし、施設の概況や機能を理解する。 ・動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解する。 ・学習者として適切に行動できるように社会常識やマナーを実践する。 ・学内のカリキュラムや各教科と実際の業務との関連を知り、必要性を理解する。 							
受講条件	動物看護科に在籍している。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	特になし							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	各種検査の種類や方法、意義を理解した上で、正常値や異常値を判断できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	臨床現場における各種場面において、最良とされる判断ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	自ら疑問点を見出し、追究することができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
学内での事前・事後学習および動物病院内での実習授業。 ※実習中は必ず実習服を着用していること。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	事前学習	オリエンテーション：実習の目的・目標を知る。各種書類配布および記入						
第2回	動物病院実習①	各自で選んだ動物病院へ実習						
第3回								
第4回								
第5回								
第6回	動物病院実習②	各自で選んだ動物病院へ実習						
第7回								
第8回								
第9回								
第10回	動物病院実習③	各自で選んだ動物病院へ実習						
第11回								
第12回								
第13回								
第14回	事後学習	自己評価、ポートフォリオ（実習記録、課題）の記入および発表						
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							-	秀 (S):100点~90点
小テスト							-	優 (A):89点~80点
宿題授業外レポート	○		○				10	良 (B):79点~70点
授業態度			○	◎			50	可 (D):69点~60点
発表・作品							-	不可 (E):59点以下
演習							-	
出席			◎				40	
担当教員	丸山 圭太、西田 沙季			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-pet.ac.jp/voice/maruyama/			